

# 稲グリ新聞

発行  
早大グリーンクラブ  
O B 会  
編集  
田中弘文  
原信二郎  
(毎月1回発行)

## 82 O B 会、稲グリ

### クリスマス・コンサートのご案内

O日会、稲グリではかねての計画通り、82クリスマス・コンサートを左記のように開催する。一〇〇名規模の参加(家族含む)を目標に準備を進めており、O B諸氏の協力に切望される。

▽日時 十一月二日(日)  
午後三時〜六時

▽場所 大隈会館

▽演奏曲目 キヤロル、愛唱歌集など

▽出し物 お楽しみ抽選会、かくし芸、ゲーム、みんな

で歌おうコーナー

▽チケット

A券 六〇〇〇円

(50年卒以降)

B券 一〇、〇〇〇円

(49年卒以前)

家族券

一〇、〇〇〇円

(チケット担当 須藤サブマネ55)

## 福引用品供出

お楽しみ抽選会用に福引用品を募集します。勤務先等の宣伝用の品物、お歳暮のあまり物など何

## 10月練習状況

(毎水曜・フレールベル館)

一〇月六日(水)から始まった稲グリの練習出席状況は次の通り。内容は四連用の「岬の墓」を中心に愛唱歌等を組み込んだものとなった。

	10/6	13	20	27
トップ	5	4	5	2
セカンド	7	2	4	2
バリトン	6	6	8	4
ベース	6	6	2	5
計	24	18	19	13
	(x)			

## 早稲田の杜で千人奏で歌う

創立100年を記念

マラーの交響曲第八番へ指揮 岩城宏之

岡村喬生氏(29)熱唱

朝日新聞10月25日付より「早稲田の杜に二四日夕、千人で奏で歌う、マラーの『交響曲第八番』(千人の交響曲)が響いた……」第17回フロイデハルモニイ演奏会は一〇〇周年を記念して前記のように行われた。八人の二期会ソリストの中でバスとして岡村喬生氏も登場、グリー現役諸君と共に演じた。

## 田中幹事長のお願い

でも結構ですので、ご供出をお願いたします。

連絡は田中または清水マネージャー(40)まで。

## 早慶幹事顔合せ

早慶両OB会幹事が二月二日(火)、稲門クラブ(赤坂)で初顔合せをした。慶応側からは笠原三田

## 11月練習

演奏部門

11月の練習はクリスマス・コンサート用の曲も加わる予定となるが、各パート常時一〇名ぐらいの出席が欲しいところ。パートマネージャーの奮闘を乞う。

## 合同曲決まる

会幹事長、宮島ワグネル合唱団幹事長、吉川高木両四連担当マネージャー、早稲田側からは清水マネージャー、佐藤隆、須藤サブマネーおよび内田(27)、志賀(29)両氏が出席した。

佐藤隆氏の報告によれば、来年四連の合同演奏曲は左記の通りとのこと。(林雄一即指揮)

デュオパのミサレ  
キリ工  
クレド  
四校合同会(関西)  
十一月二三日予定

## 遠藤税理士事務所

税理士

遠藤 守正 (37才)

〒229 相模原市若松1-14-10

TEL 0427(45)3334

相模原市若松1-14-10 遠藤 守正 TEL 200322 稲グリ新聞

# 「岬の墓」四連演奏曲の指揮に当たって

川元啓司(56)

意外に思われる方も多いのではないだろうか。「岬の墓」(原曲は混声)は約二〇年前、昭和三八年に作曲されたものなので。

この曲は本来、男性的な骨の太い構成、虚飾をとり払った簡潔な楽想から成りたっています。冒頭の三小節のベースの旋律をご覧下さい。いかなる誇張もごまかしもないこの音が、そのまま、あるいは変形しながら全曲を造り上げています。これほど見事な構成をもった合唱曲は他に例を見ません。

管絃乐的な発想から生み出された、詩との調和が完璧であることもこの曲の特徴といえましょう。紺碧と純白のみの世界に

日が降りそそぐ、明るい

が虚無的な光景の中に咲く赤い花……。解釈のあらゆる可能性は私達にまかされています。

「岬の墓」は難曲とされてきた時期もあったようだが、現代においては純粋技術的な困難はほとんどありません。音がとれてピアノパートが加われば「なあーんだ」ということになつてしまふ

完全にプロを越えた!

## 山本健二 日本歌曲

一月八日東邦生命ホール  
多数の稲グリメンバーを含む超満員の聴衆の嵐のような拍手。こんなにも深く、豊かな日本歌曲の世界にふれた感動の余韻が、いつまでも会場に

はわです。

社会人団体がこの男声版を演奏するのは初めてであると記憶しています。学生とは一味ちがう年輪の密度が力を発揮するに

みなぎっていた。パーフエクトな、完全にプロを越えた素晴らしいリサイタル。今後の一層の活躍を祈りたい。

現役グリー演奏による

## 合唱組曲「海」を発表

作曲家鈴木淳氏(31)

「合唱音楽祭」  
82日本の音楽を世界の人々に

九月二日東大ホール  
ポップスの人気作曲家鈴木淳氏が合唱組曲を書いた。さすが早大グリーOB。屋野哲郎さんの素晴らしい詩による三部作で、なかなかの力作だ。息の合った現役グリーの熱演と、稲グリ足演でおなじみの北野実氏のピ

ちがいありません。

今回演奏する男声版は福永陽一郎先生の編曲で、昭和五五年第二八回東京六連で早大グリーが初演しています。

アノ伴奏が花を添え、当日参加の他の作曲家たちから大いにうらやましがられた。もう何編かを加えて完成したいというが、稲門グリー足演でも、ぜひとりあげたいもの。

(以上二編 徳田浩(31))

## 短信

岡村喬生(29)発

83初「冬の旅」  
文化会館(小)六時三十分  
ピアノ 霧生とし子

オヘア

「夜」と盛藤

武智鉄二演出(会場有)

郵便貯金会館

3月岡村喬生30年の音楽生活

現役

第三〇回定期演奏会

一二月四日(土)六時  
厚生年金大ホール

## ボニーからの手紙

'83 ボニージャックスのテーマ  
『早稲田の杜の詩人たち』

来年1年間は何やかやと花火を打ち上げたいと思っています。よろしくお願ひいたします。  
西脇(33)

<ボニータイムテーブル>

- 2月 結成25周年記念パーティー
- 4月 中国公演
- 5~11月 全国ツアーコンサート  
東京リサイタル5月、大阪9月
- 8月 8月11~18日  
「ボニーと共にアメリカへ」  
50名ツアー  
ロス・ハワイ参加を募集
- 10~11月 各地ホテルで銀婚式ディナーショー
- 12月 25周年記念ディナーショー